

第5回 川間台自治会・自主防災会役員会議録

日 時：令和6年11月3日（日曜日） 15:00～

出席者：矢野会長、吉田、間宮、福田（総務）、田中、相馬、栗原（文化）、馬場、水野、安保（防犯）、興津、佐藤（環境衛生）、尾内（福祉厚生）、松野（自主防災）

本日の役員会開催目的は、今年度の主要行事（新年会除く）が終了したことを考慮し、来年度の運営をどのようにしたらよいか、役員から自由闊達な意見を提起してもらうことであった。但し、前提として、今回は意見提起のみで、結論は次回以降にするとの説明があった。

I 検討事項

- 1 次年度自治会運営に係る組織体制についての会長案（資料1）
- 2 各チーム、自主防災会に関する課題等について
 - ① 総務チーム
 - ② 文化チーム
 - ③ 環境衛生
 - ④ 防犯チーム
 - ⑤ 福祉厚生
 - ⑥ 会計
 - ⑦ 自主防災会

I 次年度自治会運営に係る組織体制についての会長案

（1）変更案抜粋（添付資料1～3 朱書き部分参照）

- A 「各チームの構成委員は5名とし、役員会議には2名が出席するものとする。但し、会計チームは2名、自主防災会は現状通りとする。」
- B 「一人でも多くの人に参加してもらうため、原則、役員・班長・委員等は重複しないものとする。」
- C 「会計チームを2名とし、両名は会計状況を共有しておくこと。」
- D 「役員募集にも拘わらず、定員に達しない場合は総会出席者から選出する。」
- E 「役員手当は、（従来と同金額を）チーム代表者に支給するので、使途は委

員間で協議する。」

(2) (1) に対する主な意見

- ・役員確保も大切だが、各行事の女性の手伝い確保も大切。役員は現体制で充分である。むしろ5人はまとめるのが大変。
- ・班長との重複禁止として役員を増加すれば、班長対象者がさらに減少して班が困る。
- ・自治会員全体数に対して、それほどの割合の役員が必要か。また、候補者がいないときは総会出席者から役員を選出するなど、半ば強制するのは反対。あくまで、会員の積極的な姿勢に委ねるべきで、自治会活動、現状をより理解してもらうような活動を通して、主体的に参加してもらえるように努力することが必要。
- ・多くの会員を役員に据えることは、今後の自治会運営に関して、より多くの人に意識してもらうことに繋がるかもしれない。
- ・自治会員全体の年齢構成を分析し、仕事社会中心世代、地域社会中心世代の人数割合を考慮して、1チーム5人体制の妥当性を判断すべきである。(仕事社会中心世代に頼るのは難しい)
- ・現体制で増加を希望しているチームがあるのか？ (→会計以外とくになかった。)

2 各チーム活動、自主防災会活動の課題等について

<総務関係>

- ・役員も班長も引き受けられない、自治会活動に参加できない人たちの声を積極的に聴いていく場所や時間をつくり、会員の減少に歯止めを図りつつ将来の参加者増加につなぐ方策も必要。

<文化関係>

- ・秋祭りへの参加割合は、全世帯の28.5%、役員以外の世帯は14.5%だった。
- ・秋祭りは隔年実施で良いのでは。
- ・秋祭りに際しては、宣伝カーを使用してはどうか。
- ・参加者を増やす工夫をしたい。

<環境美化関係>

- ・次年度も春と秋の2回実施したい。
- ・空き家や住人がいても周囲が雑草だらけの家屋への対応は、環境美化チームにお願い

いする。(環境美化チーム了承)

・ごみ集積場に関わる諸課題は、別途検討し、役員会で説明する予定である。

<防犯関係>

- ・パトロール2回目(11.3)は、班長や一般参加も呼びかけ参加者が増えた。
- ・防犯の上り旗を新しくして設置した。

<福祉厚生関係>

- ・計画通り順調である。
- ・集会場の消耗品購入に関しては、総務と分担して行う。

<会計関係>

- ・立替払いをお願いしているが、とくに問題なし。

<自主防災会関係>

- ・各会員には、10月に配付されたハザードマップを確認し、マイタイムラインを是非作成してみて欲しい。➡ 作成仕方の説明会を企画したい。
- ・防災訓練に関しては毎回同じことの体験・説明になっているが、繰り返すことで忘れていることを思い出したりしながら覚えていくことを意図して実施している。